

町民1人当たりに使われたお金
353,418円の内訳※

区分	金額(円)
民生費	119,251
土木費	61,458
教育費	38,856
衛生費	38,305
総務費	33,770
公債費	26,151
消防費	16,306
諸支出金	4,017
その他	15,304

町民1人当たりが負担した町税
150,013円の内訳※

区分	金額(円)
固定資産税	81,999
町民税	54,671
町たばこ税	6,713
都市計画税	3,551
軽自動車税	2,931
入湯税	148

※平成29年3月31日現在住民基本台帳人口で算出しています。

町民税について、個人・法人とも増収となったほか、軽自動車税も増加し

町税 (1.2%減)

歳入は126億1,389万円で、前年度に比べて4億2,217万円(3.5%)増加しました。

歳入

一般会計は、私たちの暮らしに欠かせない福祉や教育、防災、生活環境などに係るお金の収支です。

一般会計

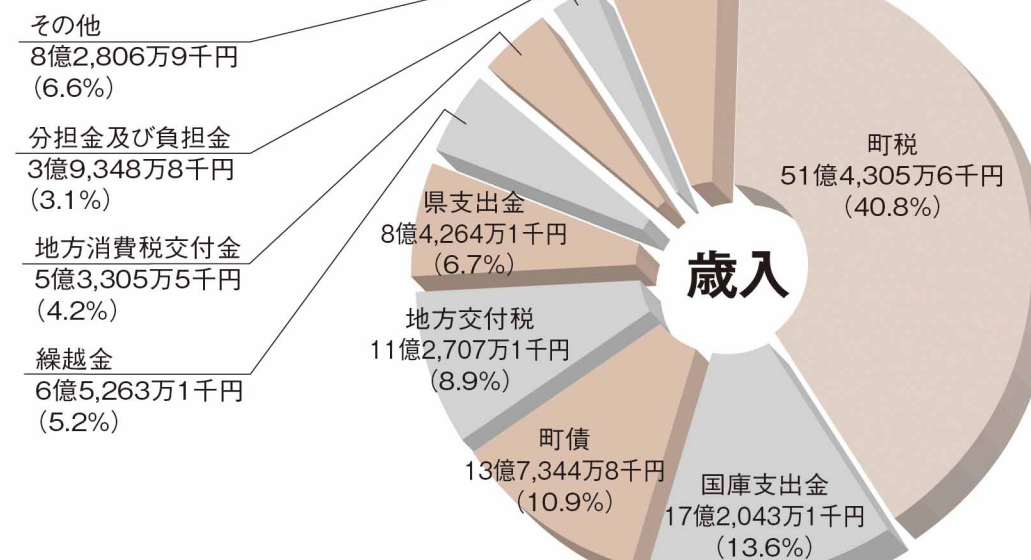
平成28年度

決算報告

平成28年度の決算が、町議会第3回定例会で認定されました。皆さんから納めていただいた税金等がどのように使われたのか、町の決算状況についてお知らせします。

■問い合わせ/財務課 ☎581・2121内線323

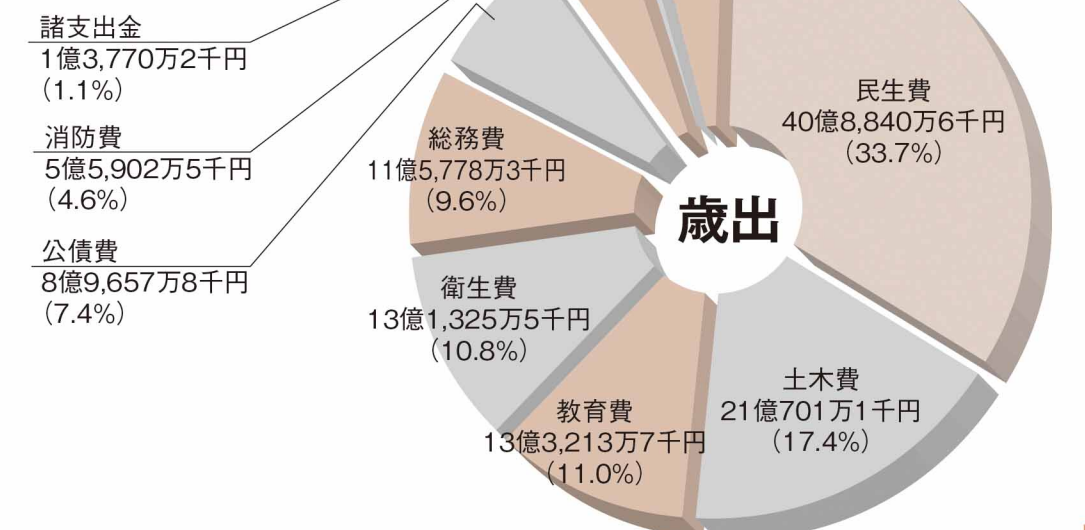
歳入の内訳



歳入合計 126億1,389万円

※その他の内訳は使用料および手数料、諸収入、地方譲与税などです。

目的別歳出の内訳



歳出合計 121億1,657万8千円

※その他の内訳は、農林水産業費、商工費および議会費です。

ましたが、固定資産税における償却資産の減価や土地価格の時点修正による影響などにより町税全体では減収となりました。

国庫支出金 (40.7%増)

17億2,043万1千円
社会資本整備総合交付金や学校施設環境改善交付金などの増加により、款全体で4億9,742万5千円の増となりました。

町債 (69.7%増)

13億7,344万8千円
(仮称)寄居P.A.スマートICや男衾駅周辺地区の整備等に伴う土木債を5億2,480万円、小学校の空調設備整備等に伴う教育債を3億6,430万円、臨時財政対策債を4億3,854万8千円発行するなどし、款全体では5億6,419万4千円の大幅な増となりました。

地方交付税 (9.1%減)

11億2,707万1千円
行政サービスの一定水準を確保するために国が交付する普通交付税は、財源不足額が縮小したことから、前年度比5.4%減となりました。また特別な財政需要に対し交付される特別交付税は、25年度の大雪に係る支援経費に対する措置等の終了により26.3%減となりました。

県支出金 (25.9%減)

8億4,264万1千円
被災農業者向け経営体育成支援事

歳出

主な事業

業補助金の終了等により、款全体で2億9,465万1千円の減となりました。

歳出は121億1,657万8千円で、前年度に比べて5億7,748万9千円(5.0%)増加しました。

民生費 (1.9%減)

6億8,948万8千円
障害者総合支援給付事業
児童手当給付事業
4億6,860万4千円
保育所等入所児童施設型給付金
4億2,628万1千円

土木費 (57.9%増)

8億4,524万4千円
男衾駅周辺地区整備事業
(仮称)寄居P.A.スマートIC整備事業
3億8,698万2千円
下水道事業特別会計繰出金
2億1,628万9千円

教育費 (42.6%増)

7億7,150万5千円
小・中学校費
給食施設費
1億1,826万6千円

衛生費 (4.0%増)

4億1,825万1千円
大里広域市町村圏組合負担金
2億613万4千円
汚泥再生処理センター維持管理事業

総務費 (1.8%減)

8,442万円
予防接種事業
電子計算システム管理運営事業
1億3,416万円
国際交流推進事業
1,160万7千円

公債費 (1.5%増)

8億859万4千円
元金償還金
8,796万5千円
利子償還金

消防費 (3.4%増)

4億6,663万円
消防事務委託事業
災害対策事業
1,046万8千円

諸支出金 (69.6%減)

8,000万円
公共施設整備基金積立金

